

式 辞

天候が心配されましたが、皆様を祝福するかの如く、うっすらと太陽の光がさして参りました。梅のつぼみがほころび始め、春の訪れを静かに告げています。本日ここに、令和七年度長野県松本深志高等学校卒業証書授与式を挙げる運びとなりましたこと、まことに喜ばしく、日頃から本校に対しまして格段のご支援・ご高配を頂いております多くの皆様に衷心より御礼を申し上げます。

只今、全日制普通科三二一名の卒業生の皆さんに卒業証書を授与いたしました。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。高等学校の全課程を終え、慈しみ大切に育ててこられたお子様が、凛々しく、頼もしく成長された姿に感慨もひとしおのことと拝察致します。お子様は今日ここに力強く新しいステージへ踏み出す時を迎えました。日頃のご労苦・ご訓育が実り、この日を迎えられましたことに、心からお喜び申し上げます。

皆様方には、本校の教育活動推進のために、温かいご支援と多大なるご協力を賜りましたことをこの場をお借りして、心から厚くお礼を申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、本校における全日制課程を修了し、伝統ある長野県松本深志高等学校の卒業生として、その名を歴史に刻むことになりました。まずは、皆さんのこの三年間におけるたゆまぬ努力と精進を褒め称え、将来に向けてのエールを送りたいと思います。

皆さんの高校生活は必ずしも順風満帆ではなく、思いどおりにいかないこと、迷いながら考え続けた時間、挫折しそうな場面、そして失敗もあったと思います。しかしながら、本校における高いレベルでの様々な学びや諸活動に誠実に向き合い、自治の校風を追究する中で、容易に答えの出ない課題に向き合うことの難しさとその意義を学び、自らを鍛え、科学的、論理的な思考力を磨いてきた皆さんには、将来を予測するのが困難な時代を力強く歩んでいく力が身についたであろうことを確信しています。そして、皆さんのたゆまぬ努力の陰には、皆さんのことを絶えず気遣い、支えてくださったご家族や周囲の方々があったことを決して忘れないでください。ぜひ、無償の愛情でここまで育ててくださったご家族、そしてお世話になった周囲の方々、仲間たちに、心より感謝の気持ちを伝えて頂きたいと思います。

さて、本日は、二月に開催されたミラノ・コルティナ冬季オリンピックのことに触れ、皆さんへのはなむけの言葉としたいと思います。

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、競技を終えた選手たちが、結果に関わらず互いの健闘をたたえ、国境を越えて肩を抱き合う、勝敗を超えた温かい光景が多く見られました。結果だけにこだわり過ぎると、どんな手段を使ってでも勝とうとしたり、他者を

傷つけたり、他者に嫌な思いをさせたり、ということが起きてしまったりする場合があります。ましてやそれが四年に一度のオリンピックという大舞台であればなおさらです。しかし、アスリートとしてはもちろん一人の人間としても素晴らしい人たちは、競い合う相手を敵としてではなく、同じ目標に向かって切磋琢磨する同志としてリスペクトし、努力の過程を知っているからこそ、互いの健闘を心からたたえたのだと思います。その光景は、人を本当に輝かせるのは結果ではなく、その過程に宿る誠実さなのだ、ということ、そして、真の強さとは何かを教えてくれたように思います。

勝者がいれば必ず敗者もいます。必ずしも目に見える結果が伴うわけではありませんが、そこに至るプロセスには、メダル獲得や入賞以上の大きな達成感や成長、価値がある、目標に向かってひた向きに努力し、ベストを尽くしてやり切る、そして、全てのことを受け入れ、それまで支えてくれた方々に感謝し、選手はオリンピックの舞台に立っている。それが同志としてリスペクトすることにつながっていると思うと同時に、そういった考え方や生き方をしているからこそ結果がついてくるのだとも思えました。そして、結果がどうあれ、全力を尽くしたプロセスそのものが、人生の確かな誇りになることを教えてくれたように思います。

卒業生の皆さんが今日手にする卒業証書は、楽しかったことばかりではない、人知れず悩んだり、壁にぶつかったりした高校生活の見えないプロセスの証でもあります。これから先、多くの出会いがあり、心躍るようなうれしいことや意欲をかき立てられる魅力的なことが待ち受けていると思います。また、辛いことや厭なこと、心が折れそうになること、壁にぶつかる瞬間もあるでしょう。けれど、どうか忘れないでください。人は一人で強くなるのではなく、仲間と支え合い、認め合うことで大きく成長していくのだということ。どんな結果よりも、そこに至るまでの歩みこそが、皆さんの人生を豊かに形づくっていくのだということ。周囲への感謝を忘れず、周囲の人たち、そして自分自身にも敬意を払い、謙虚に学ぶ姿勢をもち、今を精一杯生き、自分だけでなく、周囲の人、そして世界全体の平和と幸せのために力を尽くす人になってほしいと願います。

最後に、皆さんにお願いがあります。

どうか健康でいてください。

心と体が健やかであってこそ、皆さんの力は存分に発揮されます。忙しさしきの中でも、自分を大切にしている時間を忘れず、充実した日々を積み重ねてほしいと願っています。

今まで皆さんを支えてくれた家族、応援して下さった多くの方々、そして創立百五十周年を迎える松本深志高校は、いつも皆さんを温かく見守り応援しています。

卒業生の皆さんの人生に幸多かれと祈り、本日ご列席のみなさんに感謝を申し上げて、式辞といたします。

令和八年三月四日

長野県松本深志高等学校長 倉田 慎司